

2年 道徳学習指導案

平成29年1月17日(火)

指導者

- 1 主題名 内容項目名 家族愛, 家族生活の充実 (内容項目番号 C-(14))
(資料名「一冊のノート」 出典「私たちの道徳」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目 C-(14) は「父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚を持って充実した家庭生活を築くこと。」をねらいとしている。生活を共にする家族は血縁によって結ばれたかけがえのない存在である。生徒は祖父母・父母とつながる生命の流れの中でその子供として生きている。父母や祖父母は子供の健やかな成長を願い, 無償の愛情を注いで育ててくれている。そうした家族に対して感謝の気持ちを持ち, 敬愛の情を深めることは自然なことである。日常の家庭生活を振り返り, 家族の思いに気づき, 家族の一員としての自覚を高め, 自分の役割と責任を果たす態度を育てることは温かな家族関係を築くことにつながる。

現在は核家族化が進行しており, かつてのような大家族での生活が少なくなっている。本学区は同居, あるいは近所に祖父母が住んでいる生徒が多く, 祖父母が通学の送り迎えをする様子などが見られ, 祖父母との関係が深い生徒が多い。中学生の時期は父母や祖父母のありがたさを感じてはいるものの, その言動がうとましく感じられることがある。自分と家族の関係を見直し, 家庭生活の中での自分の役割を自覚するとともに, 家族の役に立てるように積極的に行動できるようにすることが大切である。

家庭を取り巻く様々な問題が話題になる昨今である。生活の場の中心となっている家庭について考えることは, 日常生活の充実や今後の生き方につながるものである。

以上のことから, 家族のつながりと深い愛情に結ばれた信頼関係に思いを寄せ, 充実した家庭生活を築くことについて考えることをねらって, 本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (22人)

中学生らしい生活が身につく, 学習にも真剣に向き合えるようになってきたため, 成績が向上してきている。中堅学年として活躍の場が増えており, 部活動や委員会活動で積極的に活動する姿が見られる。授業にも前向きに取り組んでおり, 道徳の授業では自分の考えをプリントに記述し, 発表することができる。字を書くのに時間がかかったり, 表現することを苦手とする生徒もいたが, 前向きに取り組むことができている。

事前調査の結果は以下のとおりである。

- ① 家庭での生活は楽しいですか。
とても楽しい (4人), まあまあ (13人), あまり (3人)
つまらない (2人)
- ② 何人家族ですか。
9人 (1名), 7人 (1人), 6人 (3人), 5人 (5人), 4人 (7人)
3人 (2人), 2人 (2人)
- ③ おじいさん・おばあさんは同じ家または近所にいますか。
はい (15人), いいえ (7人)
・近くにいるおじいさんやおばあさんをどのように思っていますか。

やさしい（10人）、好き、いい人（3人）、腹が立つ（2人）等

- ④ 「場面調査1」朝登校しようとする、家のリビングルームにおいてあった数学のノートをおばあさんが片付けてしまい、どこにあるかわかりません。あなたはどんな気持ちになりますか。

イライラする（5人）、怒る、むかつく、嫌な気持ち、あせる、どこにあるか聞く（各2人）等

・なぜですか。

勝手にいじるから、どこにあるかわからないから、置きっ放しだったから（各2人）等

- ⑤ 「場面調査2」これまで元気だったおばあさんは物忘れが激しくなり、頼んだことを忘れてしまったり、同じことを繰り返して聞いたりします。あなたはどんな気持ちになりますか。

しょうがない（6人）、何も思わない（3人）

イライラする、むかつく（2人）等

・なぜですか。

年だから、何回も聞くから（各3人）等

- ⑥ どんな家族であったらよいと思いますか。

仲良し（4人）、やさしい（3人）楽しい、にぎやか、大切にし合う（各2人）等

家庭生活を楽しく過ごしている生徒が17名おり、つまらないと答えている生徒も2人いる。核家族が多いけれど、祖父母が近くにいる生徒は15名に及び、祖父母をやさしい（10人）、好き（3人）と答えている。しかし、祖父母に腹を立てるなどイライラする生徒が3人ほどいる。

場面調査ではイライラしたり（5人）して、怒りの感情を表す生徒が多くみられる。おばあさんが物忘れが激しくなってきた時には、イライラする（2人）ような生徒も見られるが、しょうがない（6人）とする生徒が多い。

理想とする家族像では仲良し（4人）、やさしい（3人）、楽しい（2人）家族があげられている。

生徒は祖父母との関わりが深く、やさしい存在と思っている。少数ながら、祖父母がうるさいため腹を立てている生徒も見られる。祖母がノートを片づけた時には腹を立てる生徒が多いが、物忘れが増えた時と同様にしょうがないと受け入れる生徒も見られる。

現在、核家族化、少子高齢化が進み、将来を見越した家族の在り方について様々な議論がある中で、本校の学区も同様の課題を抱えている。本資料を通して、父母や祖父母との生活を思い起こし、家族が愛情を基盤に生活していることを振り返るようにしたい。その上で、自分が家族から支えられていることを見つめ、家族の一員としてどのように貢献するかを考えさせ、より良い家庭生活を過ごそうとする態度を育てたい。

（3）資料について

主人公は同居している祖母がかなり物忘れが激しくなったため、様々なことで言い争いになるようになった。買い物に出かけた時の祖母の服装はみすばらしく異様に感じた。その上、祖母は朝弟の隆が頼んだ宿泊学習のための品物を買って忘れていた。父に祖母への不満を言うと、父は祖母の「記憶が相当弱くなっている。」ので、「自分でできることぐらいは自分でするように」と話した。ある日、主人公が探し物をしていると一冊のノートを見つけた。そこには、祖母のもどかしさや不安などの苦悩とともに、家族とともに幸せ

に過ごせる感謝の気持ちが書かれていた。その一冊のノートを読んで、主人公はいたたまれなくなり祖母にやさしく声をかけるという内容である。主人公の気持ちを通して、家族として生活することの悩みとともに喜びを考え、家族から受ける愛情の深さに気付き、家族の一員としてどうあったら良いかを考えさせることのできる資料である。

3 ねらい

主人公の祖母に対する怒りや不満な気持ちを捉えた上で、一冊のノートを読んだ主人公の気持ちの変容を通して、父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く態度を育てる。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 家族についての話題を出して話し合い、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <p>① 何人家族ですか。</p> <p>② 祖父母と暮らしていますか。</p> <p>③ 祖父母をどのように思っていますか。等</p> <p>2 資料『一冊のノート』を読み、主人公の気持ちを話し合う。</p>	<p>① 3人, 4人, 5人, 6人家族等</p> <p>② 暮らしている。暮らしていない。</p> <p>③ やさしい, 好き, うるさい等</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母と暮らすことや生活について話し合い、普段の家族生活に目を向ける。 ・資料『一冊のノート』を読み、主人公の気持ちを考えながら授業を進めることを説明する。
<p>物忘れが激しくなってきた祖母に対する主人公の気持ちを通して、家族について考えよう。</p>			
<p>① 数学の問題集が押入れの新聞入れの中から出てきた時に「しっかりしてよ。」と言っている時の主人公はどんな気持ちだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手に片付けられてイライラする。 ・自分の悪いのを認めないので腹がたつ。 ・同じことが繰り返されて嫌な気持ち。 ・母が祖母をかばうのは納得いかない。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の忙しい時に数学の問題集を探している主人公の気持ちを考え、共感的に受け止める。
<p>② 買い物から帰ってきた祖母に「何のためにふらふら外を歩いているんだよ。」と問い詰めている主人公はどんな気持ちなのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に見られて恥ずかしい。 ・服装や大きな買い物籠がみすぼらしくて、みっともない。 ・祖母と同じように自分も笑われているようで嫌だ。 ・自分の祖母と気付かれたら格好が悪い。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・おかしい格好をしている人が自分の祖母だと友達に気付かれたくない気持ちと祖母に対する不快な感情をについて捉えられるようにする。
<p>③ 宿泊学習のために隆が祖母に頼んだ品物が買い忘れられていて、隆</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞いていませんよ。」と言い逃れをして腹がたつ。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・祖母に対する怒りとあきらめの気持ちをつかめるようにす

<p>と買い物に出かけた主人公はどんなことを考えていただろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祖母は頼んだことができなくてしょうがない。 ・祖母に言っても仕方がない。 		<p>る。</p>
<p>④ 父の話を聞いて主人公が何も言えなくなったのはなぜだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祖母は一生懸命やっているから。 ・祖母は家族のために良かれと思ってやっているから。 ・祖母を頼って任せっきりだったから。 ・祖母がぼけてきたのは仕方がなく見守るのは当然だから。 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・①祖母が家族のために一生懸命にやっていること，②自分たちが祖母に頼っていたこと，③今の祖母を見守ることについて整理する。
<p>⑤ 一冊のノートを読んだ主人公はどのようなことを考えただろうか。プリントに書き，発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記憶が思いにまかせないもどかしさや不安が見てとれ気の毒に思った。 ・一生懸命考えているのに申し訳ない。 ・祖母が苦しんでいるんだとわかった。 ・孫や家族に迷惑をかけていることを申し訳なく思っているのを知って驚いた。 ・孫の面倒を見たいと思って頑張っていることに気付いて反省している。 ・家族と幸せに暮らせることへの感謝の気持ちを主人公も持つことができた。 ・家族生活できることに感謝したい。 ・祖父母や父母を大切にしていきたい。 ・自分が大きくなれたのも家族のおかげだから，家族のために考えて行動したい。 ・自己評価をし，学習のまとめをする 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ◇祖母のノートを読み，祖母のもどかしさや不安などの苦悩に接するとともに，家族に対する愛情を感じ，家族として一緒に生活できることへの感謝から祖母とより良い家庭生活を営もうとする主人公の心情を理解することができる。 ・黙って祖母と草取りをしている主人公の気持ちを捉えられるようにする。
		10	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ◇家族のありがたさを捉え，家族の一員として家庭生活を充実させることの大切さをまとめることができたか。
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・5段階で自己評価し，理由を記す。

<p>3 『一冊のノート』を読み、家族の一員として生活することについて考えたことをプリントにまとめましょう。</p> <p>4 自己評価の欄を記入しましょう。</p>			
---	--	--	--